

### 3. 平成13年 年末年始の旅客輸送等の動向

#### 1. 鉄道

##### JR (平成12年12月28日～13年1月8日)

JRは、多くの地方で大きな運行上の支障がなかったこと、また昨年の2000年問題による出控えの反動や新世紀を迎えるイベントが各地で行われたことにより、グループ全体では前年同期比8%増となった。

なお、利用のピークは下りが12月30日、上りが1月3日であった。

新幹線は多くが対前年同期比5～13%増となった。なお、山形新幹線については3日からの大雪による輸送障害で大幅な減となった。

JRグループ主要区間における特急・急行列車上下計の断面輸送量 (単位：万人)

会社名	期間 (区間数)	H11.12.28	H12.12.28	前年比 (%)
		～H12.1.8	～H13.1.8	
JR北海道	(4)	42.2	47.0	111
JR東日本	(18)	461.3	488.1	106
JR東海	(10)	298.2	319.1	107
JR西日本	(12)	239.3	264.0	110
JR四国	(3)	16.7	16.9	102
JR九州	(3)	52.3	54.1	104
計	(50)	1,110.0	1,189.2	107

合計値、前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

##### 新幹線旅客輸送人員前年比 (%)

東海道	山陽	東北	上越
107	110	107	105
長野	山形	秋田	
112	81	113	

山形新幹線は福島-米沢間の実績である。

##### 大手民鉄 (平成12年12月31日～13年1月3日)

大手民鉄(16社)は、昨年の2000年問題での出控えの反動や、各地で新世紀を迎えるイベントが行われたこと等により、全体では1.7%増であった。

大手民鉄 定期外旅客輸送量

(単位：万人)

会 社	期 間		前年比 (%)
	H11.12.31 ~ H12.1.3	H12.12.31 ~ H13.1.3	
関 東 9 社	1,619.6	1,666.4	102.9
関 西 5 社	910.2	917.4	100.8
そ の 他	250.4	243.3	97.2
計	2,780.2	2,827.1	101.7

関東9社は、東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、営団、相鉄。

関西5社は、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神。

その他は、名鉄、西鉄。

合計値、前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

2. 国内航空 (平成12年12月23日～13年1月4日)

国内航空については、旅客数で見ると、昨年7月に実施された羽田空港の増枠等による増便、2000年問題の反動等により10社全体では対前年同期比11.2%増となった。

特に、JALエクスプレス、スカイマークエアラインズ及び北海道国際航空の3社は60%を超える伸びを示した。

なお、ピークは下りが12月29、30日、上りが1月3、4日であった。

(単位：千人)

会 社	期 間		前年比 (%)
	H11.12.23 ~ H12.1.4	H12.12.23 ~ H13.1.4	
全日本空輸	1,286	1,438	111.8
日本航空	716	771	107.7
日本エアシステム	680	756	111.3
エアーニッポン	203	211	103.8
日本トランスオーシャン航空	85	92	108.0
日本エアコミューター	49	51	103.8
スカイマークエアラインズ	24	44	187.5
北海道国際航空	20	33	163.2
JALエクスプレス	18	29	162.8
琉球エアコミューター	7	8	112.7
計	3,089	3,435	111.2

合計値、前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

### 3. 国際航空（平成12年12月23日～13年1月4日）

国際航空については、昨年が2000年問題の影響で伸び悩んだところであるが、今年は各社ともに大きく前年を上回り5社合計では対前年同期比28%増となった。

なお、出国のピークは12月28～30日、入国は3～4日であった。

（単位：千人）

会 社	期 間		前年比 (%)
	H11.12.23 ～H12.1.4	H12.12.23 ～H13.1.4	
日本航空	386	487	126.0
全日本空輸	120	146	122.2
日本アジア航空	29	45	155.5
日本エアシステム	15	24	164.0
エアーニッポン	1	3	218.8
計	551	705	128.0

日本発着ベース

合計値、前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

日本航空の実績は、JALが1/4分、全日本空輸の実績は、エアジャパン(平成13年1月1日から就航分を含む)。

### 4. 高速道路（平成12年12月27日～13年1月8日）

全国的高速道路の出入交通量は、全国的な降雪の影響により対前年同期比3.5%減であった。

下り線では特に集中した期間はなかったものの、上り線では1月2日、3日に渋滞がみられた。

主要12料金所の出入交通量で見ると、対前年同期比3.5%減であったが、そのうち首都圏料金所(6箇所)は3.2%減、地方都市料金所(6箇所)は4.0%減であった。

（千台）

区 分	期 間		前年比 (%)
	H11.12.27 ～H12.1.8	H12.12.27 ～H13.1.8	
全国高速道路	6,457	6,231	96.5
主要料金所12箇所	778	751	96.5

主要料金所は、東北(仙台宮城・浦和)、常磐(三郷)、東関東(習志野)、関越(新座)、東名(東京・名古屋)、中央(八王子)、名神(吹田)、北陸(金沢西)、山陽(広島)、九州(太宰府)。